

東児童センター 利用者アンケート結果報告書

－ 乳幼児の保護者を対象とした調査 －

令和 8 年 7 月
東児童センター

1. 調査の概要

本調査は、東児童センターを利用する乳幼児の保護者を対象に、施設運営の改善と子育て支援の充実を目的として実施した。無記名により、施設の満足度、居場所としての価値、子育てサークルへの希望、および自由記述を尋ねた。

項目	内容
対象	東児童センターを利用する乳幼児の保護者
有効回答数	25 名
方法	無記名式アンケート（4 段階評価および自由記述）
評価尺度	満足度・価値ともに 4（とても良い）～1（良くない）の 4 段階

2. 回答者の構成

回答者は **1 歳児の保護者が 16 名（64%）** と中心で、0～2 歳で大半を占めた。校区は芥見・芥見東（藍川東）で 18 名（72%）と近隣が中心。利用頻度は「週に数回」が最も多い。

お子さまの年齢

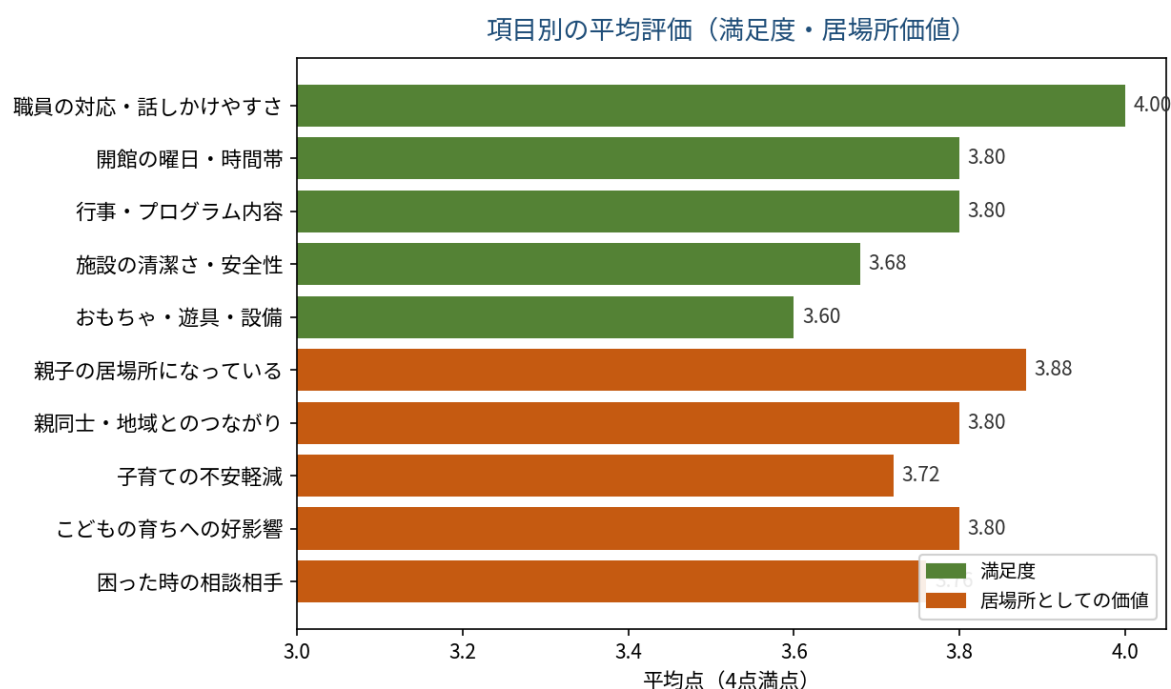
0 歳	1 歳	2 歳	5 歳	計
2	16	5	2	25

お住まいの校区 / 利用の頻度

校区	人数	利用頻度	人数
芥見	10	ほぼ毎日	2
芥見東（藍川東）	8	週に数回	9
岩	4	週 1 回	4
その他（藍川・三輪南等）	3	月数回	4
		それ以下	5
		無記入	1

3. 満足度と「居場所としての価値」

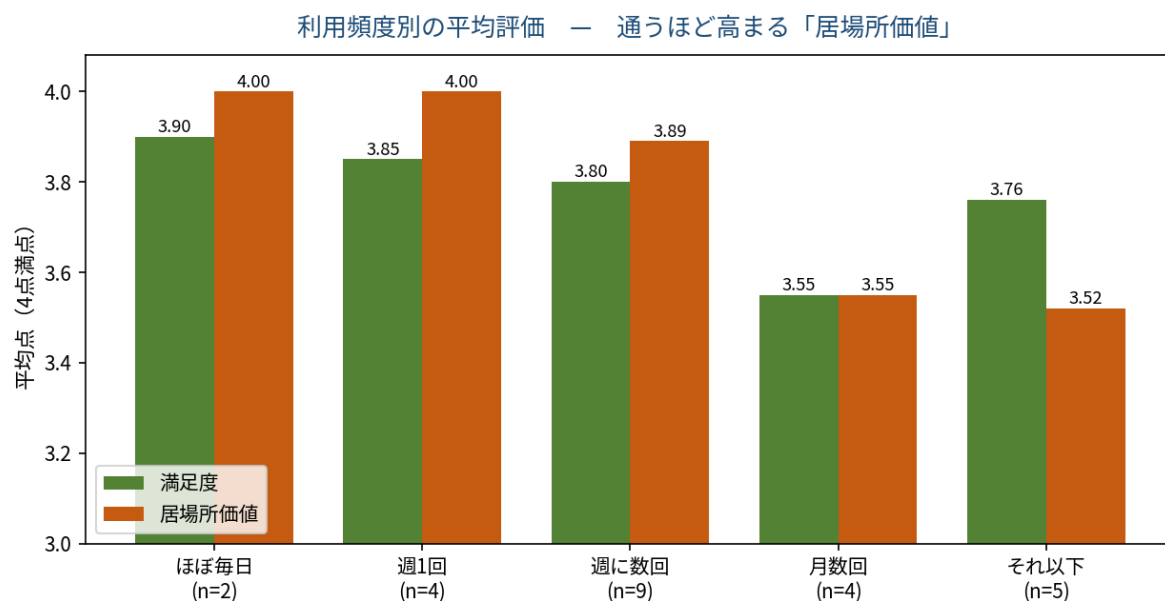
満足度は全体平均 **3.78**、居場所としての価値は全体平均 **3.79** といずれも高水準で、不満（2・1）はほぼ見られなかった。特に「**職員の対応・話しかけやすさ**」は回答者全員が最高評価（平均 **4.00**）で、人の対応＝関係性の質が突出した強みとなっている。一方で相対的に低いのは「**おもちゃ・遊具・設備**」（**3.60**）と「**清潔さ・安全性**」（**3.68**）というハード面であった。



項目	平均	「4」	「3」	「2」
職員の対応・話しかけやすさ	4.00	25	0	0
開館の曜日・時間帯	3.80	20	5	0
行事・プログラムの内容	3.80	20	5	0
施設の清潔さ・安全性	3.68	17	8	0
おもちゃ・遊具・設備	3.60	15	10	0
親子の居場所になっている	3.88	22	3	0
親同士や地域とのつながり	3.80	20	5	0
子育ての不安・孤立感の軽減	3.72	19	5	1
こどもの育ちへの好影響	3.80	20	5	0
困った時に相談できる相手	3.76	20	4	1

4. 利用頻度と「居場所価値」の関係

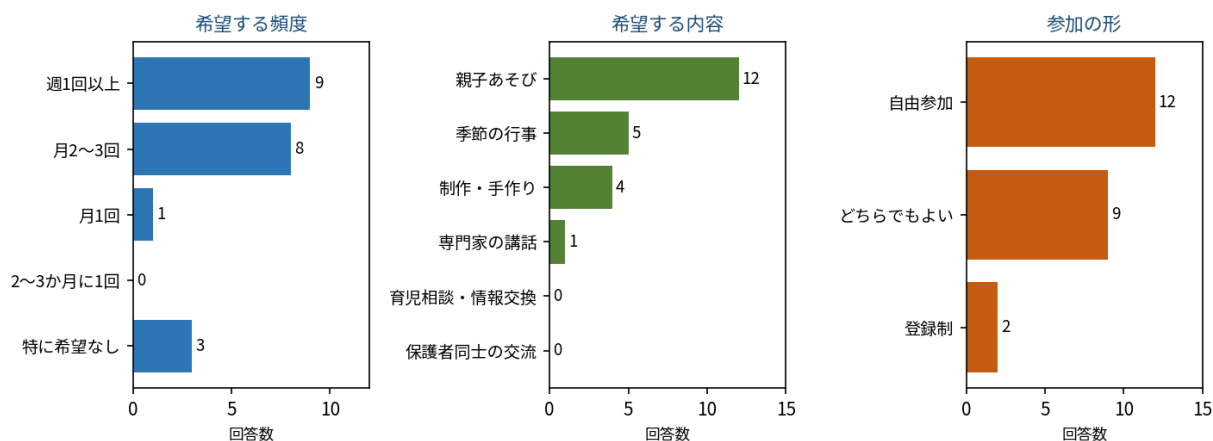
満足度は利用頻度に関わらずほぼ一定（サービスの質が安定）である一方、「居場所としての価値」はよく通う人ほど高いという明確な傾向が見られた。週1回以上の層では価値の平均が4.00に達するのに対し、月数回以下の層では3.5前後にとどまる。



これは「継続的に通うことで、この施設が親子にとっての居場所として定着していく」ことを示すデータである。単なる利用満足にとどまらず、通うほど孤立感が和らぎ、親子の関係や地域とのつながりが育つという子育て支援の効果を、数値として裏づけるものと考えられる。

5. 子育てサークルへの希望

開催頻度は「週1回以上」と「月2～3回」で約8割が月複数回以上を希望し、ニーズは高い。参加形態は自由参加（出入り自由）が最も多く、固定メンバー制よりも気軽に参加できる形が求められている。年齢の分け方は「0歳・1歳・2歳～で分ける」が最多であった。内容は親子あそびを中心に、季節の行事・制作への希望が続く。



※「希望する内容」は複数回答が一部含まれるため、割合は最小限の見積もりである。

運営への示唆：年齢帯で分けた編成・自由参加を基本とし、親子あそびを中心に季節行事や制作を織り込む方向が、保護者ニーズに合致する。現在検討中の乳幼児プログラム再編の方向性を裏づける結果である。

6. 自由記述の傾向

感謝と好評が大多数を占めた。職員への評価（「先生方が優しくフレンドリー」）、サークルへの評価（「毎回楽しい」「多くて嬉しい」「毎月やってほしい」）、多胎児への配慮に対する感謝などが多く寄せられ、満足度の結果と一致している。

繰り返し挙げた改善要望：

- トイレの便座を温かくしてほしい（複数）
- 開館の開始を9時からにしてほしい（複数）
- おもちゃの消毒、屋外での活動（ミニ運動会・外遊び・ピクニック等）

7. まとめと今後への示唆

強み 職員の対応力（全員が最高評価）と、通うほど高まる居場所としての価値。子育て支援の中核が機能している。

課題 相対的に評価が低いのは設備・遊具・清潔さといったハード面であり、満足度データと自由記述（トイレの便座・おもちゃの消毒）が一致している。

改善アクション

- トイレの便座の温水化など、低コストで対応可能な設備改善を岐阜市に要望
- おもちゃの消毒回数を増やすことを検討
- サークルの開催頻度の充実（月複数回・自由参加・年齢帯別編成）と屋外活動の導入

東児童センター運営の継続的改善の根拠となる。